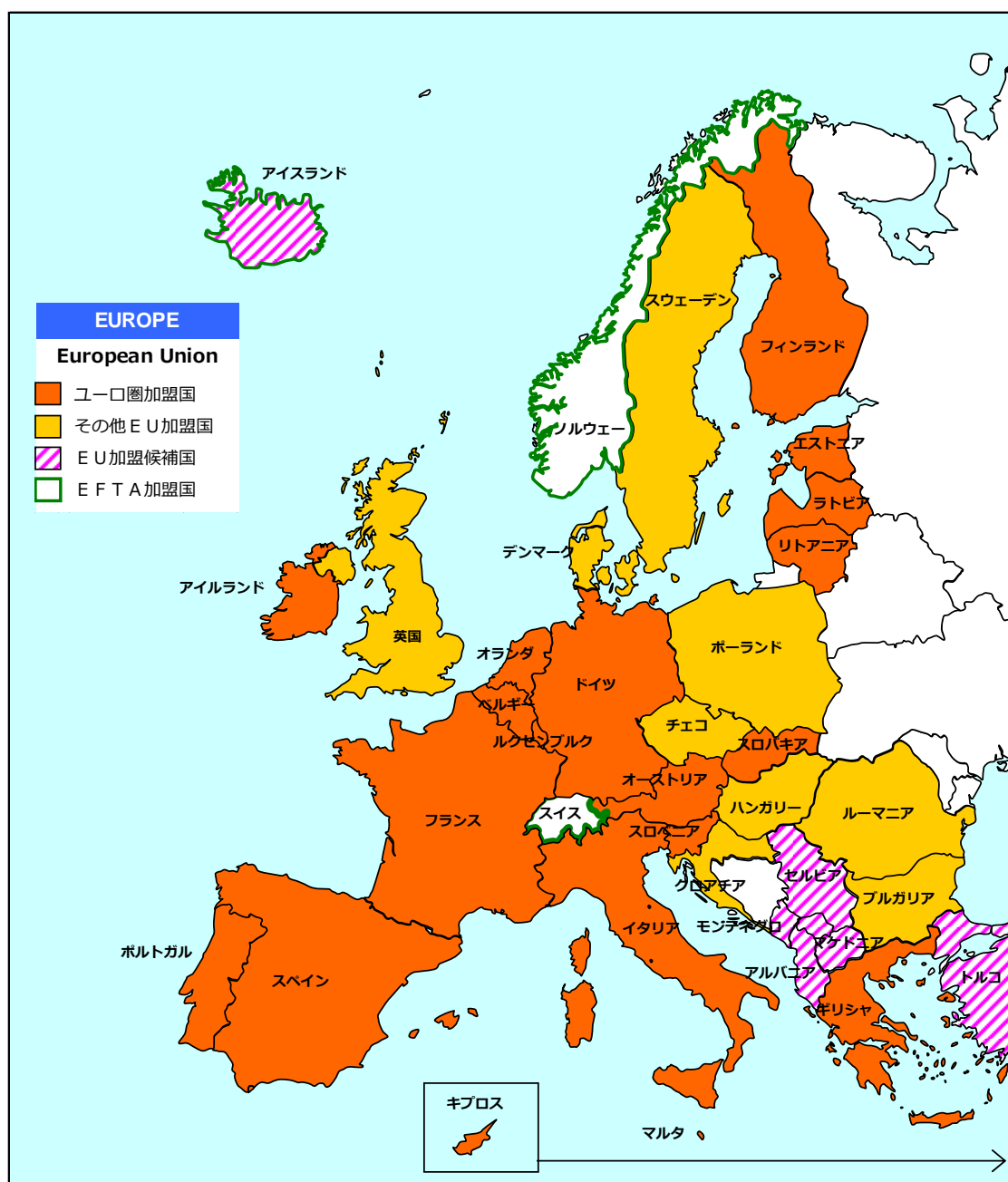


2015年5月25日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2015.5)

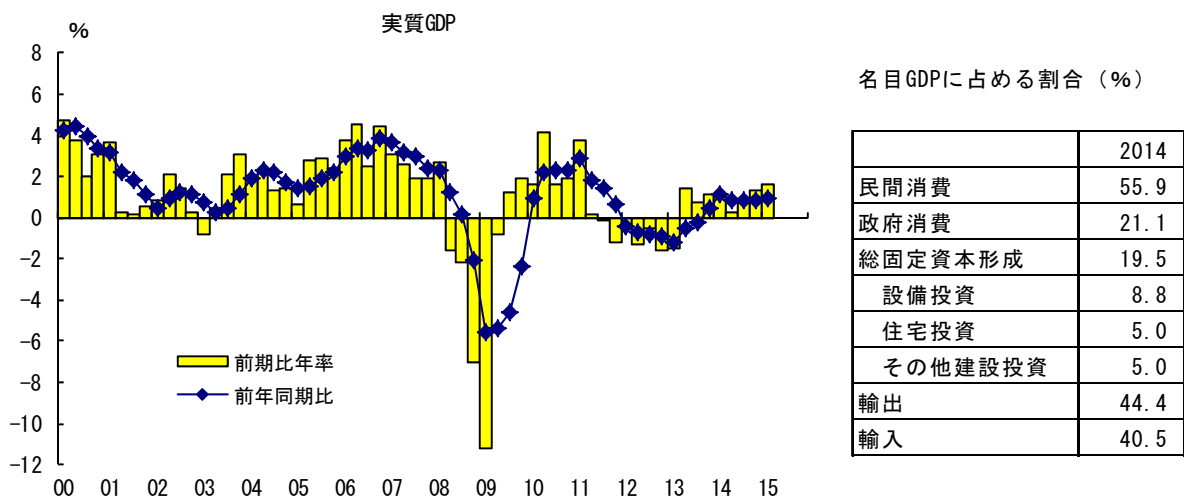
経済調査部  
シニアエコノミスト 山崎 加津子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

## ユーロ圏 GDP

- 15年Q1の成長率（速報値）は前期比+0.4%と14年Q4の同+0.3%から若干加速
- 低成長ながら、8四半期連続の前期比プラス成長となっている
- 需要項目別の内訳データを含む第2次推計値の発表は6月5日（金）の予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1
実質GDP	-0.1	-0.3	-0.1	-0.4	-0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.4
個人消費	-0.3	-0.5	-0.2	-0.4	-0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.5	0.4	-
政府消費	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	-
総固定資本形成	-1.3	-1.1	-1.0	-0.4	-2.2	0.7	0.7	0.5	0.4	-0.5	0.0	0.4	-
設備投資	-1.1	-1.3	-1.0	0.2	-1.9	1.2	0.4	1.3	0.1	0.5	0.6	0.0	-
住宅投資	-0.6	-0.5	-1.0	-1.0	-2.3	0.2	0.8	-0.6	1.2	-1.4	-0.4	0.9	-
その他建設投資	-2.4	-1.5	-1.0	-1.0	-2.7	0.3	1.0	0.1	0.3	-1.7	-0.7	0.7	-
輸出	1.3	0.7	0.9	-0.8	0.4	1.7	0.6	0.8	0.4	1.3	1.5	0.8	-
輸入	0.5	-0.4	0.0	-0.7	0.1	1.3	1.5	0.2	0.5	1.3	1.7	0.4	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

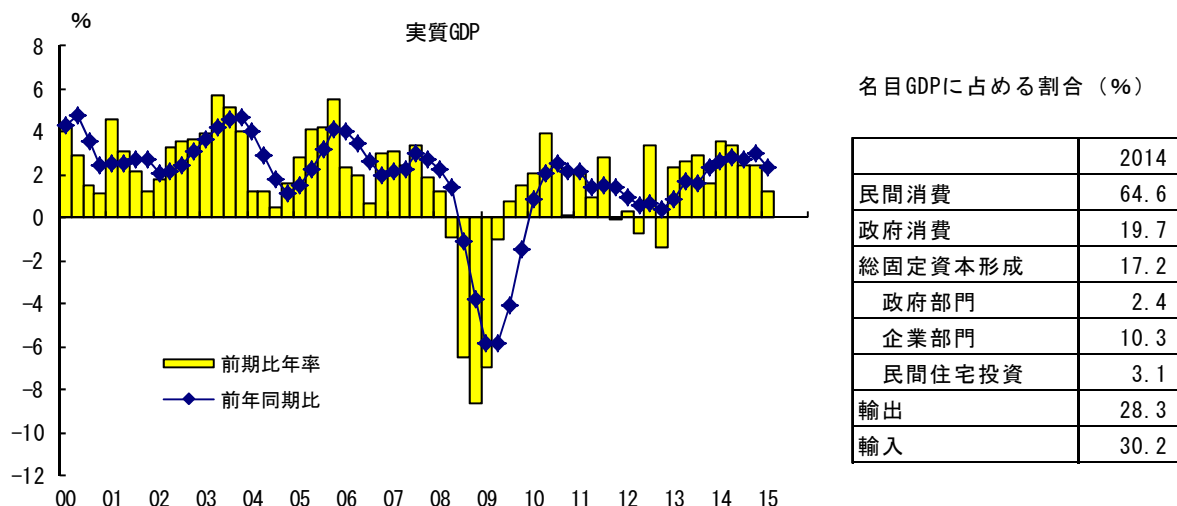
	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1
実質GDP	-0.10	-0.32	-0.13	-0.40	-0.37	0.35	0.18	0.28	0.28	0.07	0.18	0.33	0.40
個人消費	-0.15	-0.27	-0.11	-0.25	-0.13	0.07	0.09	0.08	0.12	0.13	0.28	0.24	-
政府消費	-0.03	-0.02	-0.03	-0.01	0.03	0.03	0.04	0.01	0.05	0.03	0.05	0.04	-
総固定資本形成	-0.27	-0.23	-0.20	-0.08	-0.44	0.13	0.13	0.10	0.09	-0.11	0.00	0.08	-
設備投資	-0.11	-0.13	-0.10	0.02	-0.19	0.11	0.04	0.13	0.01	0.05	0.06	0.00	-
住宅投資	-0.03	-0.03	-0.05	-0.05	-0.12	0.01	0.04	-0.03	0.06	-0.07	-0.02	0.05	-
その他建設投資	-0.13	-0.08	-0.05	-0.05	-0.14	0.01	0.05	0.00	0.02	-0.08	-0.03	0.03	-
在庫変動	-0.01	-0.27	-0.15	0.04	0.05	-0.11	0.27	-0.15	0.05	-0.02	-0.12	-0.23	-
輸出	0.53	0.29	0.38	-0.35	0.16	0.73	0.26	0.33	0.19	0.57	0.65	0.37	-
輸入	-0.18	0.17	-0.02	0.25	-0.06	-0.50	-0.59	-0.10	-0.22	-0.53	-0.67	-0.17	-
純輸出	0.35	0.46	0.36	-0.10	0.11	0.23	-0.32	0.23	-0.03	0.04	-0.02	0.20	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、2015年データが公表されているものは19カ国ベース、まだ2014年までのデータしか出ていないものは18カ国ベースである。

## 英国 GDP

- 15年Q1のGDP成長率（速報値）は前期比+0.3%と14年Q4の同+0.6%から大きく減速
- 生産ベースのGDP統計では、建設業が前期比-1.6%、鉱工業が同-0.1%と落ち込んだほか、頼みの網のサービス業も同+0.5%と伸び悩んだ
- 需要項目別の内訳データを含む第2次推計値の発表は5月28日（木）の予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1
実質GDP	0.1	-0.2	0.8	-0.3	0.6	0.6	0.7	0.4	0.9	0.8	0.6	0.6	0.3
個人消費	0.3	0.3	0.1	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.8	0.5	1.0	0.4	-
政府消費	3.5	-2.6	0.6	0.1	0.2	-0.7	0.5	-0.1	0.2	1.7	0.5	-0.2	-
総固定資本形成	-0.1	-1.6	-0.9	1.1	1.0	0.6	2.7	2.3	3.2	0.7	1.7	-0.6	-
政府部門	7.9	-2.0	-12.9	1.7	-0.1	-3.2	0.1	1.3	12.0	-11.9	9.3	1.7	-
企業部門	0.2	-0.8	3.1	0.9	1.0	-0.4	3.8	2.7	1.7	2.7	0.3	-0.9	-
民間住宅投資	-2.6	-4.5	-1.2	0.2	0.8	5.8	1.5	1.1	4.4	1.3	2.3	-1.4	-
輸出	-0.1	-0.8	2.0	-1.6	0.6	4.6	-3.4	-1.3	1.7	-0.7	-0.1	4.6	-
輸入	1.1	0.2	1.6	-0.8	-2.2	3.8	1.9	-1.4	1.2	-1.2	1.4	1.6	-

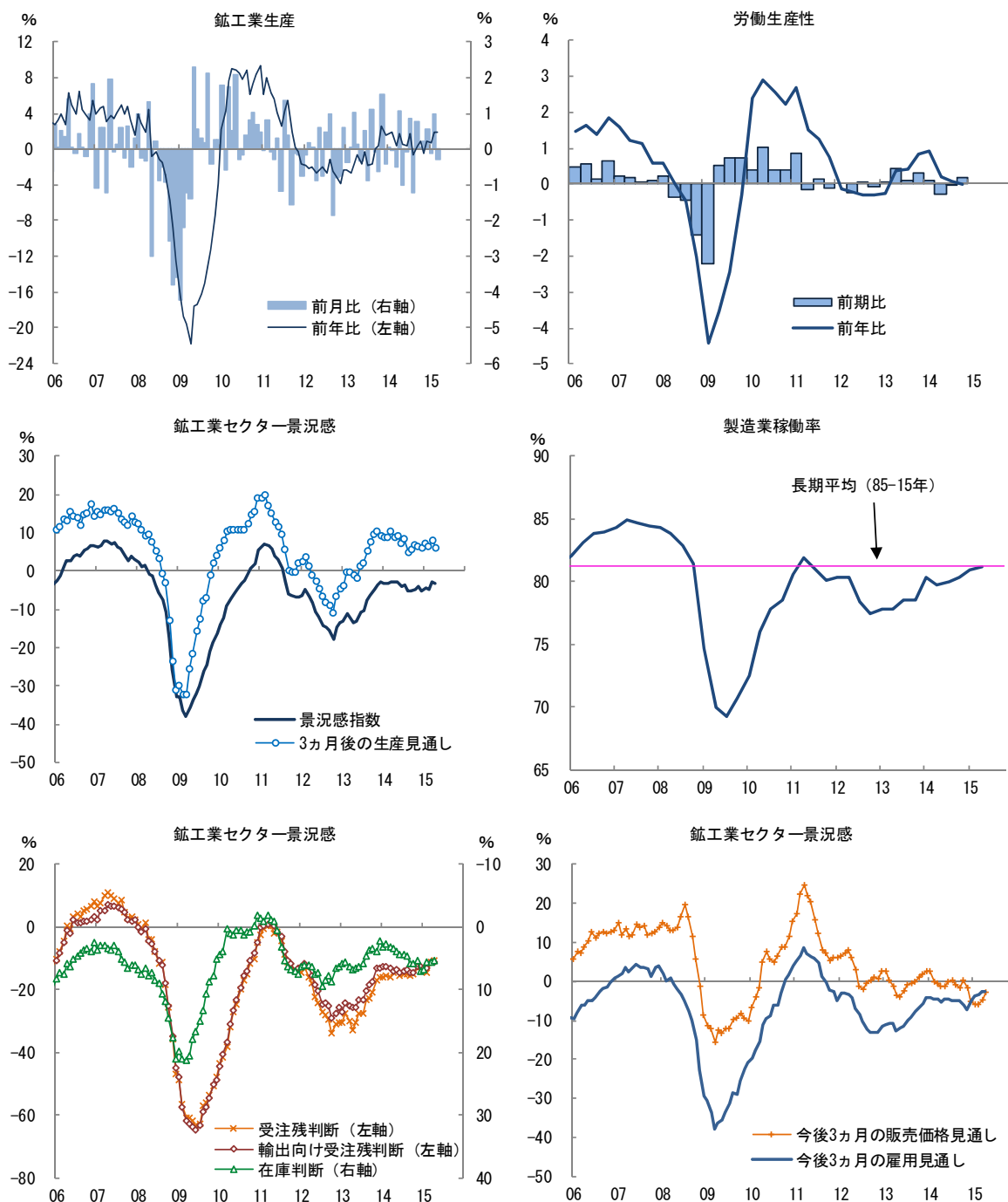
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1
実質GDP	0.07	-0.18	0.83	-0.34	0.60	0.64	0.72	0.41	0.88	0.83	0.62	0.61	0.30
個人消費	0.20	0.21	0.09	0.29	0.34	0.26	0.35	0.21	0.51	0.35	0.66	0.29	-
政府消費	0.74	-0.55	0.13	0.03	0.05	-0.14	0.10	-0.01	0.05	0.34	0.10	-0.05	-
総固定資本形成	-0.01	-0.26	-0.15	0.17	0.17	0.09	0.43	0.38	0.53	0.13	0.30	-0.11	-
政府部門	0.20	-0.06	-0.35	0.04	0.00	-0.08	0.00	0.03	0.27	-0.30	0.20	0.04	-
企業部門	0.01	-0.08	0.30	0.09	0.10	-0.04	0.37	0.27	0.17	0.28	0.03	-0.10	-
民間住宅投資	-0.08	-0.14	-0.04	0.01	0.02	0.17	0.05	0.03	0.14	0.04	0.07	-0.05	-
在庫変動	-0.50	0.72	0.67	-0.58	-0.79	0.29	1.55	-0.24	-0.26	-0.18	0.05	-0.40	-
輸出	-0.02	-0.24	0.62	-0.51	0.18	1.41	-1.09	-0.41	0.51	-0.20	-0.04	1.37	-
輸入	-0.35	-0.07	-0.53	0.26	0.73	-1.24	-0.62	0.48	-0.40	0.41	-0.45	-0.53	-
純輸出	-0.37	-0.30	0.09	-0.25	0.91	0.17	-1.70	0.07	0.11	0.21	-0.49	0.84	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 3月の鉱工業生産はエネルギー部門の生産減少が響いて前月比-0.3%と小幅反落したが、前年比では+1.8%と堅調な伸び
- 4月の鉱工業セクター景況感は前月比ほぼ横ばい。構成項目の中で在庫判断と受注残判断は小幅に改善した一方、3ヵ月後の生産見通しがやや悪化した
- 鉱工業セクターの販売価格見通しは3ヵ月連続で前月比改善

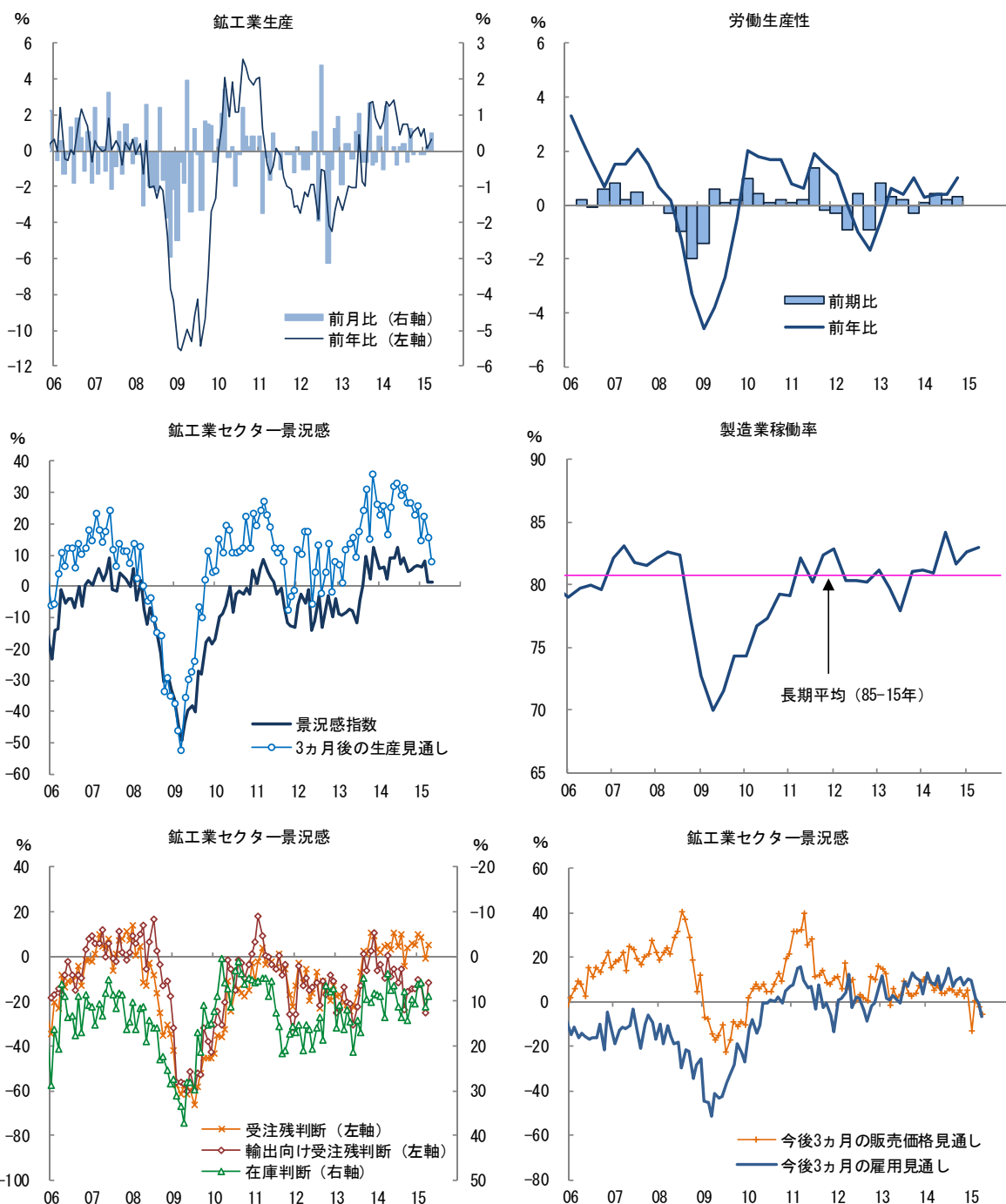


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 3月の鉱工業生産は前月比+0.5%と半年ぶりの高い伸びとなった。鉱業部門が同+2.6%と力強く反発したほか、製造業部門は同+0.4%とまずまず堅調
- 鉱工業セクター景況感は3月に急速に悪化したあと、4月は横ばい。構成項目の中で3ヵ月後の生産見通しが一段と悪化した
- 鉱工業セクターの雇用見通し、販売価格見通しも3月に続いて4月も共に悪化

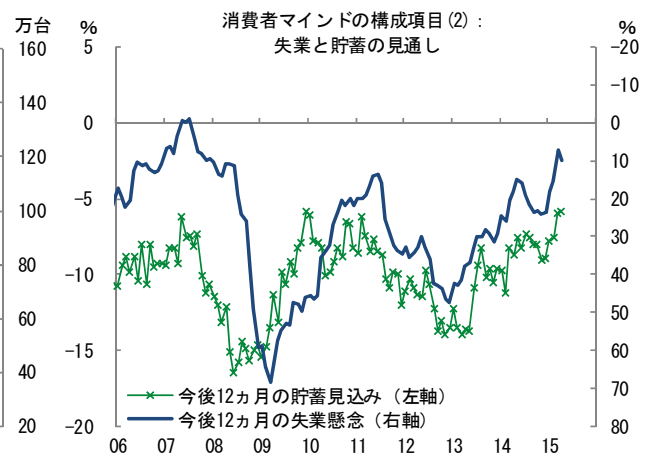
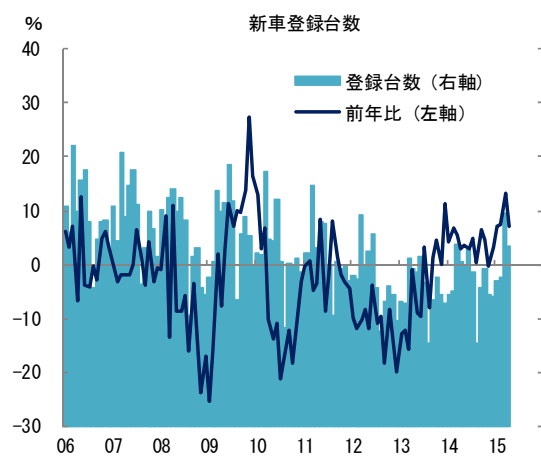
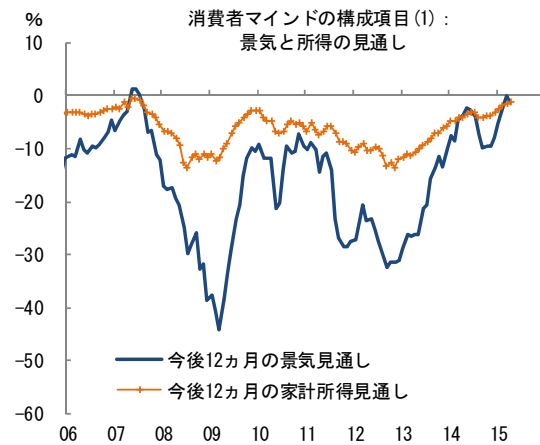
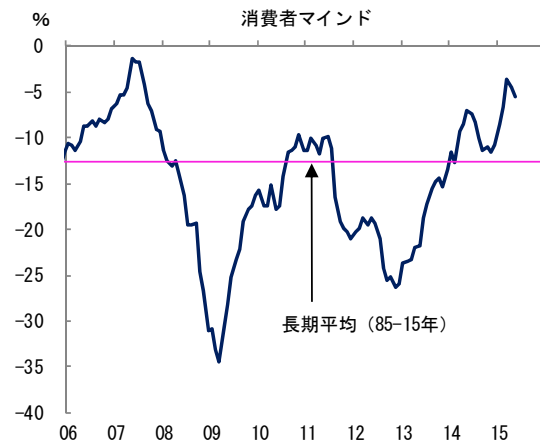
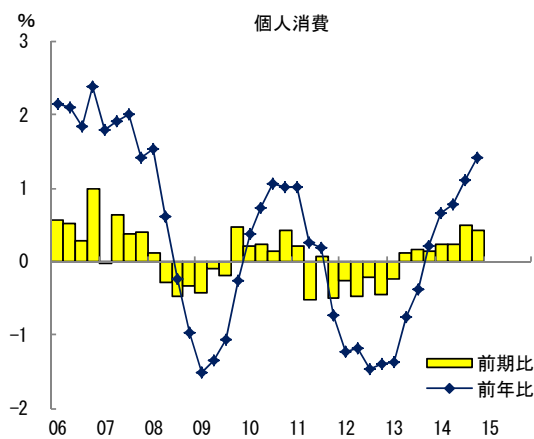


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 消費者マインドは高水準ながら、4月、5月は2ヵ月連続で小幅悪化
- 3月の小売売上高は前年比+1.6%に減速。ガソリン価格の反発を背景にガソリンの売上が同-0.7%と落ち込んだ。一方、ガソリンと食品を除く小売売上高は同+2.9%と堅調な伸び
- 4月の新車登録台数は前年比+7.2%と好調を維持している

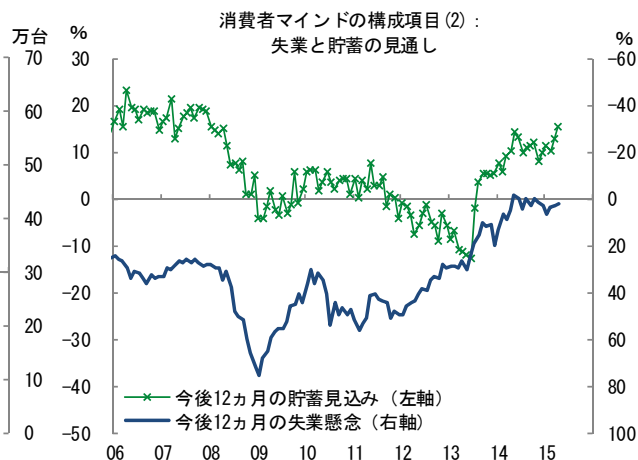
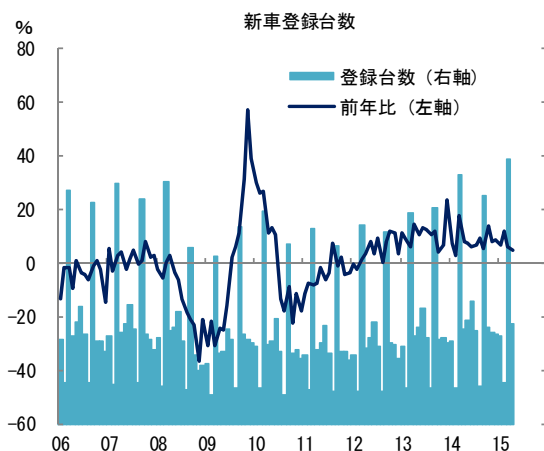
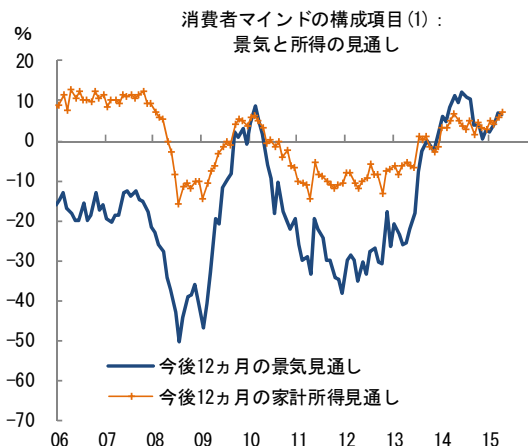
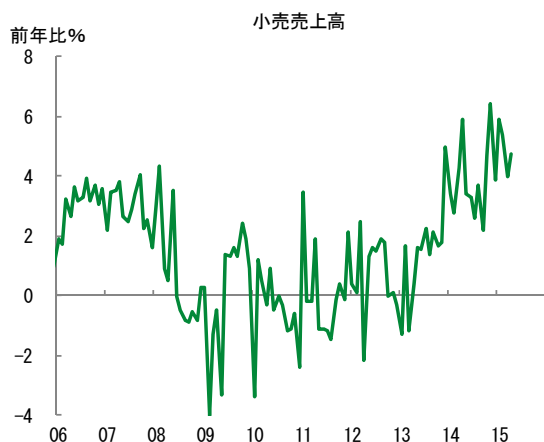


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 4月の消費者マインドは一段と改善。家計所得見通しは改善し、失業懸念は後退している
- 4月の小売売上高は前年比+4.7%と高水準の伸びを維持
- 4月の新車登録台数は前年比+5.1%となり、これで38ヵ月連続の前年比プラスの伸び

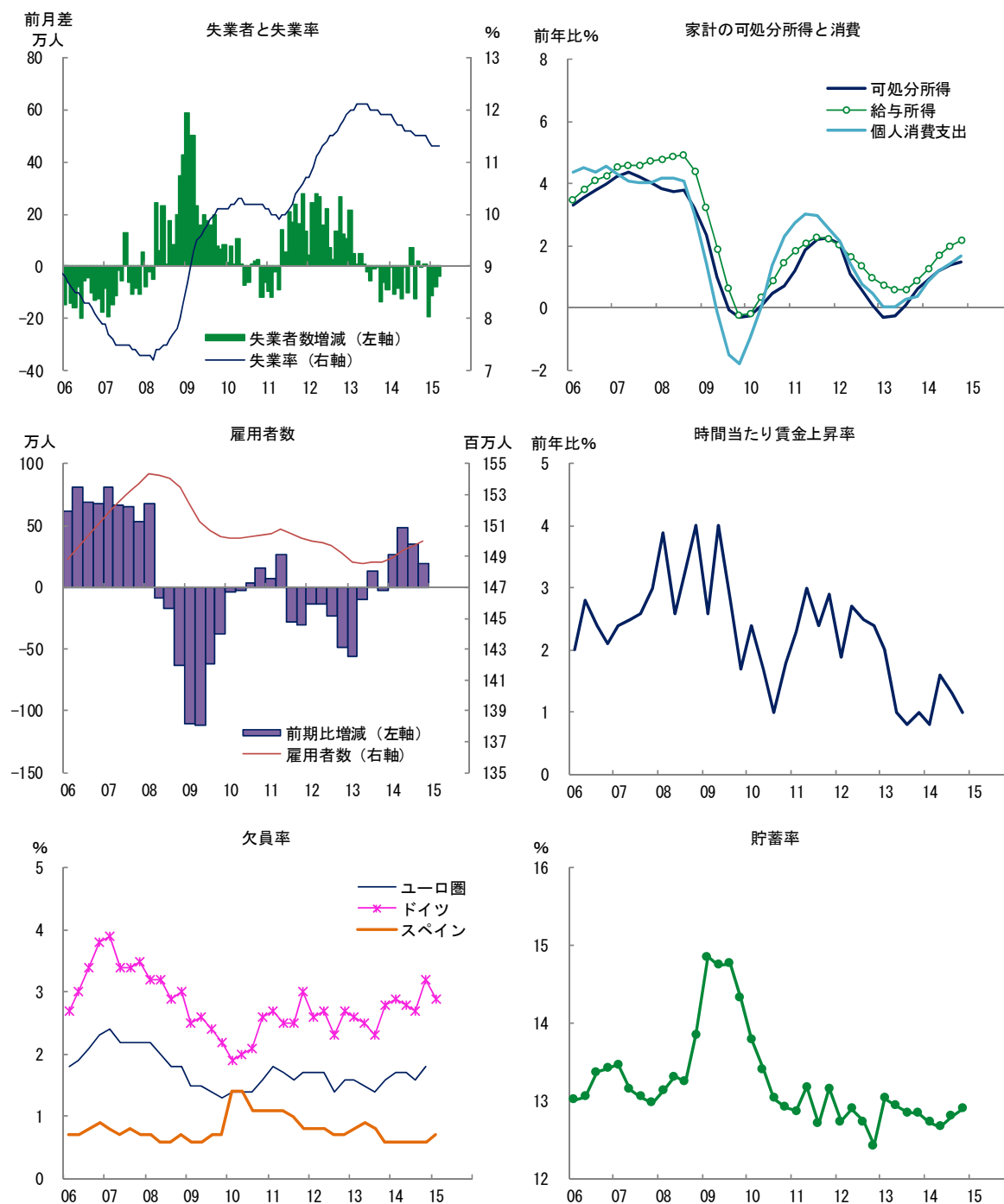


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 3月の失業率は11.3%で1月、2月と同水準。失業者数はユーロ圏全体では4ヵ月連続で前月比減少したが、イタリアでは2月と3月は増加した
- 14年Q4の雇用者数は底打ちした13年Q2比で141万人増となり、11四半期ぶりの高水準
- 14年Q4の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.0%に減速



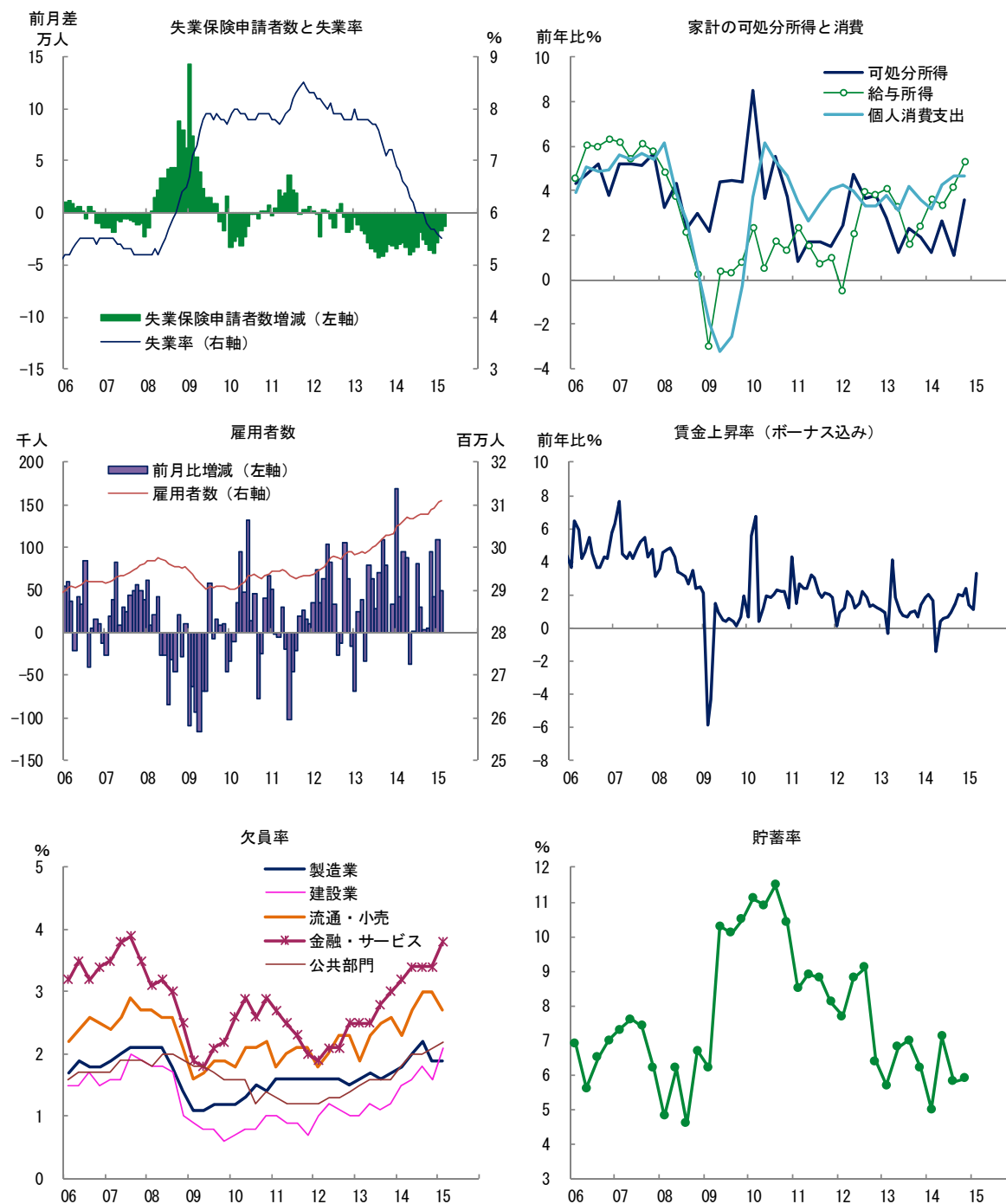
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 1-3月平均の失業率は2008年6月以来となる5.5%へ低下した。4月の失業保険申請者数が前月比1.3万人減と30ヵ月連続で減少しており、失業率低下が続くと見込まれる
- 1-3月平均の雇用者数は前年比+1.8%の3,109万人に増加
- 3月の賃金上昇率（ボーナス込）は前年比+3.3%に加速し、1-3月平均も同+1.9%とやや加速した

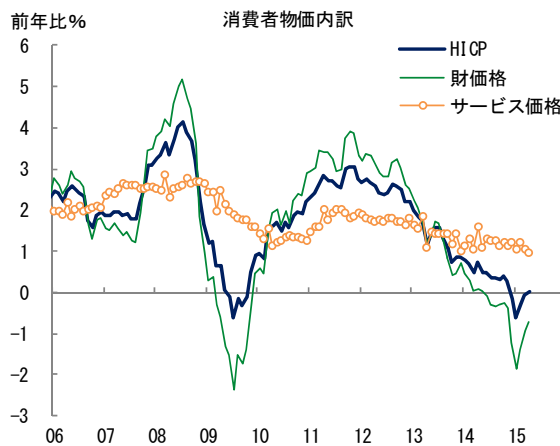
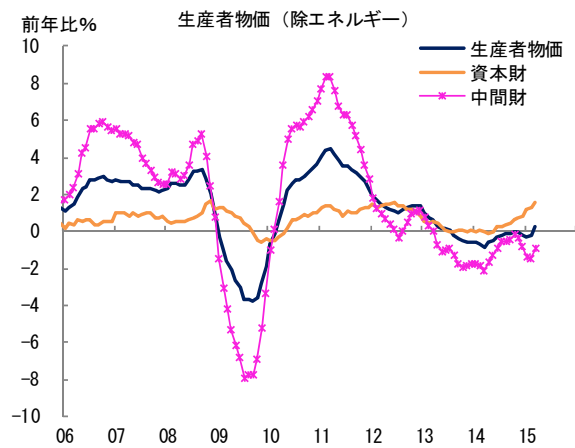


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

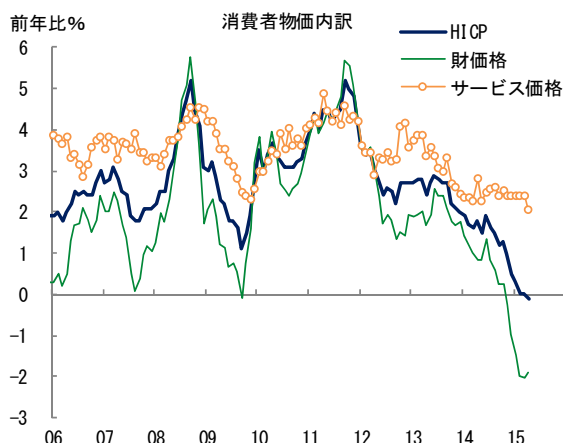
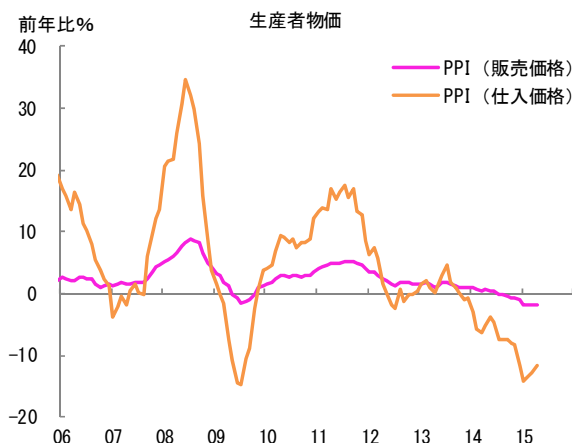
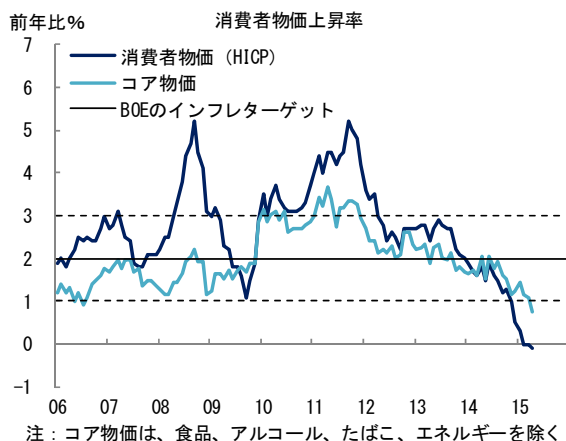
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比0.0%と5ヵ月ぶりにマイナス圏を抜け出した。一方、コア物価の上昇率は同+0.6%と過去最低水準にとどまっている
- 3月の生産者物価は前年比+0.3%となり、20ヵ月ぶりにプラスの伸びとなった
- 4月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり59.5ドルに小幅上昇。一方、ユーロの名目実効為替レートは4月も下落し、2002年5月以来の低水準に



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

## 英国 物価

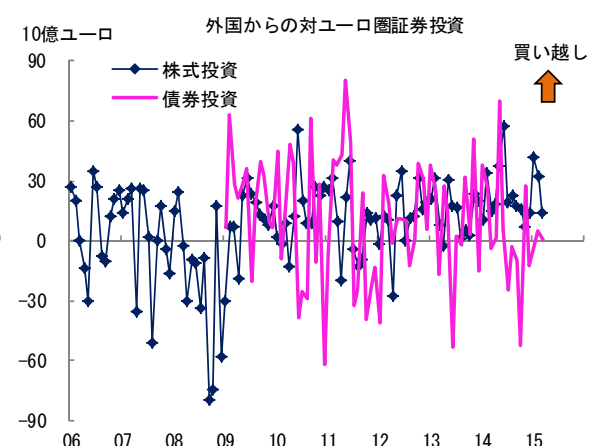
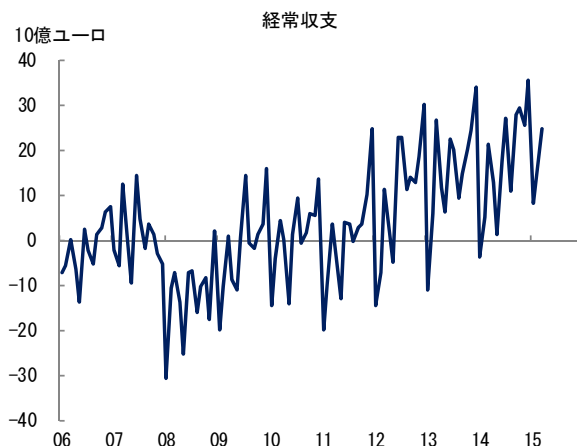
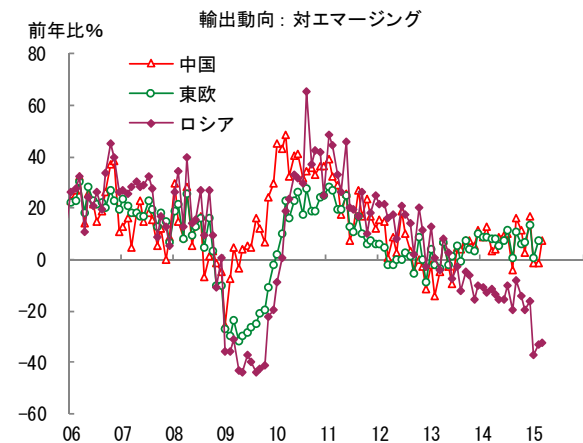
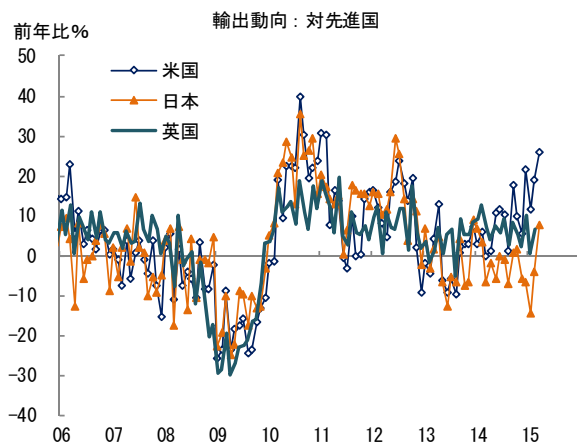
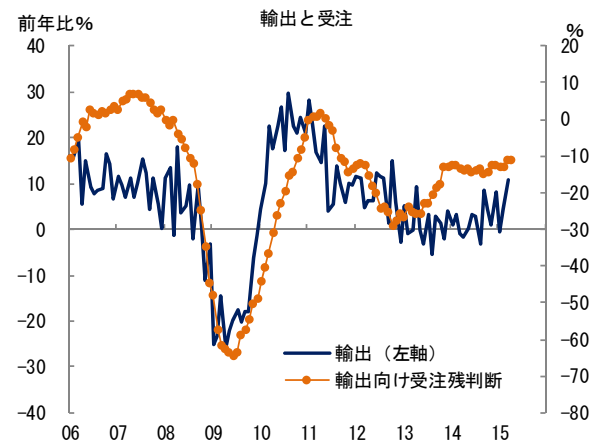
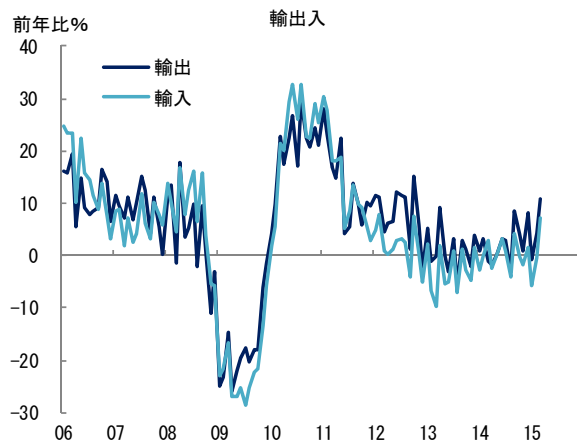
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比 $-0.1\%$ とついにマイナス圏入り。財価格が大きく落ち込んだのに加え、サービス価格もやや低下し、コア物価は同 $+0.7\%$ に低下した
- 3月の輸入物価は前年比 $-5.9\%$ へ一段と下落。原油価格下落とポンド高の二重の物価下落要因が働いている
- ポンドの名目実効為替レートは4月には5ヵ月ぶりに小幅低下した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

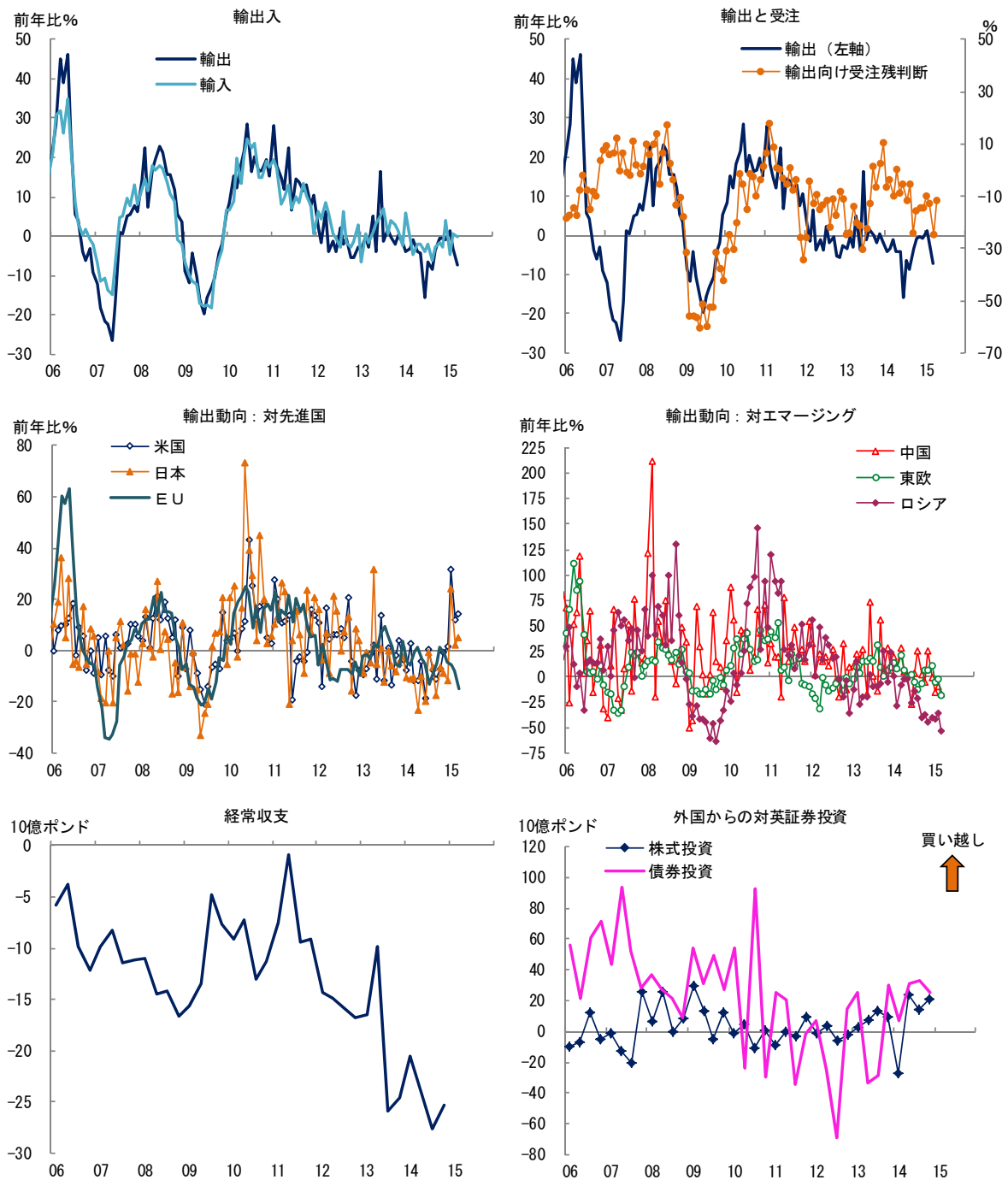
- 3月の輸出は前年比+10.9%、輸入は同+7.2%とそろって大きく伸びた
- 国別輸出動向では米国を筆頭とする NAFTA 向けが大きく伸びたほか、トルコ、インド、ASEAN 向けなども拡大した
- 3月の対ユーロ圏の証券投資では株式投資、債券投資とも買い越しではあったが、買い越し額は2月に比べて縮小した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 3月の輸出は前年比-7.2%、輸入は同-0.1%
- 英国の輸出不振の主因はEU向け輸出の落ち込みにあるが、3月は前年比-14.8%と一段と大幅な下落を記録した
- 4月の鉱工業部門の輸出向け受注残判断は3月の落ち込みを回復



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成